

「父の深い愛情、広い心に包まれて、  
私たちは本当に幸せでした。」

昭和二十三年一月、香川県小豆島で生を受けた父。

縁あって母と結婚し、家庭を築きました。

家族が穏やかな生活を送ることができたのも、  
いつも私たちを広い心で包み、

安らぎを与えてくれた、父のおかげです。

この時を迎えて、感謝の想いは尽きません。

今も瞼を閉じると、懐かしい思い出がよみがえります。

毎日、一生懸命働いて、家族を支えてくれた父。

休みの日には、よく魚釣りに出掛け、

家でも釣り竿や道具の手入れをしていたものです。

もう、そんな元気な父の姿も見られません…。

共に過ごした沢山の思い出を胸に、

精一杯の感謝をこめて、見送りたいと思います。

平成二十四年一月五日

父 塩田 英三は静かな眠りにつきました。

いつも孫たちの成長を楽しみにしていました。

孫の相手をする…。

そんな優しい父の笑顔が忘れられません。

「父さん、今まで家族のために

心を尽くしてくれてありがとう。

これからは、どうか安らかに…。

そして、私たちを見守っていてください。」

生前多くの「ご厚情を賜りました皆様へ、

深く感謝を申しあげます。

今後とも今までと変わりなき「ご厚誼を賜りますよう、

宜しくお願ひ申しあげます。

本日のご会葬、誠にありがとうございました。

略儀ながら書状にてお礼申しあげます。